

2018年度 ビギナーコース活



第1回「～ゴールを目指して～

大すごろく大会」

会場：新宿御苑（東京都新宿区）

川
5/13(日)

空
5/20(日)

1年間一緒にがんばる仲間、キャンプカウンセラーとの出会いの1日。第1回は『大すごろく大会』。みんなで大きなサイコロをふり、止まったマスでさまざまなミッションに挑戦しました。初めは緊張した様子の子もいましたが、1日の中で次第に関係性が作られ打ち解けていく様子に、今後の活動での子どもたちの姿が楽しみになりました。



第2回「～アイテム作り～

ナイフで削るオリジナルえんぴつ」

会場：多摩川河川敷（東京都狛江市）

川
6/10(日)

空
6/17(日)

第2回は『オリジナルえんぴつ作り』。普段使う機会の少ない刃物を用いてえんぴつ作りに挑戦しました。節があったり、デコボコしていたりと様々な形がある素材だからこそ、創造力を膨らませ、自分なりの工夫を凝らした“ものづくり”をすることができたのではないかと感じられました。



第3回「～飛び込め大自然～

夏を満喫！川あそび」

会場：福生かに坂公園（東京都福生市）

川
7/1(日)

空
7/8(日)

ビギナーコースの名物プログラムである川遊び。最初は川底の感触を確かめながらゆっくりと入るメンバーもいましたが、慣れてくると遊びもどんどんとダイナミックになっていきます。遊びの中で自然と仲間との関わりを持ちながら遊ぶ姿も印象的でした。全身で川を楽しむみんなの姿はまさしく『水を得た魚』かの如く、イキイキとしていました。



第4回「～くるくる回して～

竹バウムクーヘン作り」

会場：川崎市黒川青少年野外活動センター（神奈川県川崎市）

川
9/9(日)

空
9/16(日)

第4回は『竹バウムクーヘン作り』、層を重ねてカラフルなバウムクーヘンを作りました。ビギナーコースでは今年度初となるクッキングのプログラム。焼き加減や生地塗り方など上手に焼き上げるためのポイントが多くあるため、全てを気かけながら焼くのはなかなか難しい作業。苦戦した班もありましたが、完成まで頑張っており組みました。



第5回「～巨大アートに挑戦～

ビギナー砂像ミュージアム」

会場：片瀬江ノ島海岸（神奈川県藤沢市）/大森ふるさとの浜辺公園（東京都大田区）

川
10/7(日)

空
10/14(日)

『生き物』をテーマにどんな砂像を作るか班ごとに話し合い、巨大アートに挑戦です。一心不乱になって、顔や腕にまで砂をつけながら作品作りに没頭した子どもたち。出来上がった作品は、形を『生き物』に近づけるだけでなく、砂を滑らかにしたり、自然物を使って装飾をしたりと、どの班も工夫を凝らした作品となりました。





第6回「～班の仲間と～」

スペシャルお泊まり 2days」

会場：川崎市青少年の家（神奈川県川崎市）

川
11/10(土)
～11/11(日)

空
11/17(土)
～11/18(日)

いよいよやってきたビギナーコースのお泊り会！特別な2日間のスタートです。野外炊事にシティーラリーなど盛りだくさんの2日間。準備や片付けも自分たちで行うからこそ、その結果生まれる楽しい時間は、自分たちが作り出したかけがえのないものになります。2日間を通して班の絆もぐっと深まる活動になりました。



第7回「～謎解きビギナー～」

森のトレジャーハントツアー」

会場：野津田公園（東京都町田市）

川
12/2(日)

空
12/9(日)

第7回は班ごとに地図と謎解きシートを持ち、公園内に散りばめられた20枚の看板やポイントを巡ります。活動を重ね、仲間との信頼関係ができてきているからこそ、どちらに進むのか、誰が先頭を歩くのか、といったことにも主張のぶつかり合いが生まれます。しかし、少しずつ『自分だけ』ではなく『班のために』、意見を伝えることができるようになりました。



第8回「～チームワークを活かせ～」

たき火でおやつ作り」

会場：光が丘公園（東京都練馬区）

川
1/13(日)

空
1/20(日)

今第8回は、『活動まるごと自分たちでチャレンジ！』がキーワード。火おこしに必要なたき木を拾い集め、火をおこす。レシピを読んで生地を作る。おこした火で自分たちで作ったパン生地を焼く。おいしく食べた後は片付けまでしっかり頑張る、というプログラムです。班ごとの頑張りが輝く1日となりました。



第9回「～最後の挑戦！～」

10km チャレンジハイク」

会場：多摩川河川敷（東京都狛江市～府中市）

川
2/17(日)

空
2/24(日)

ビギナーコースのチャレンジハイクのテーマは“ただ長い距離を一生懸命に歩く10km”にするのではなく、“いかに自分たちで楽しく歩く”工夫をするか。1年間の集大成となった今回の活動。子どもたちにとっては果てしなく長く感じる10kmの道のり。でもそれを仲間と一緒に歩き切った、という経験は大きな自信になったのではないのでしょうか。



★参加者の感想



「ぼくの思い出ベスト3」

1ばんの思い出は『たき火でおやつ作り』で作ったパンです。パンのきじをへびみたいにぼうにまきつけるのがムギみたいにできなくてむずかしかったです。また、たき火のけむりが目に入っていたかったけど、自分でやいたパンはやわらかくものすごくおいしかったです。

2つ目に、うまれてはじめての『おとまり』です。何か月も前からワクワクしてドキドキしていました。とくに夜ねる時、男の子ばかりでみんなでふとんをならべて、ねころびながらおしゃべりしたのがとても楽しかったです。

さいごに『10キロハイク』です。2キロマラソンや5キロハイクはやったけど、10キロは、はじめてでした。足がつかれたけど、はんのみんなで木のえだをもちながら、はなしながら2位でとうちゃくできました。ふじ山の高さを3つ分も歩いたのは自分でもすごくがんばったと思いました。

(小学1年生 男子)

「楽しかった砂像作り」

わたしは、十月に、はんのみんなで砂像を作ったのが楽しかったです。さいしょ、何を作るかでけんかになっていたわたしのはんで、「いるかを作ろう。」と、話をまとめられたのは、みんなの仲がいいからだと思います。でも、作るのは大へんでした。すなをかけすぎてへんな形になったり、手が砂だらけになったり、でもそんな時に、みんなできょう力して、すてきな作品になりました。ビギナーで学んだことを学校でもがんばって、もっと友だちをつくりたいです。友だちのことがいでも、ノッツに入ってよかったと思うことは、頭に入りきらないくらいたくさんあります。なので学校とちがうところでもがんばっていきたいです。

(小学2年生 女子)

※手書きの原文を、そのままデータ化して掲載しています。

★保護者の方の声

いつもありがとうございます。

自分の意見を言えて、周りの話しが聞けているのであれば本当に良かったです。家に着いた時は靴や靴下にも砂が入っているんだ。と言いながら何だか嬉しそうな表情をしていました。楽しく過ごせた事が伝わってきました。ありがとうございました。また、よろしく願いいたします。

(第5回「砂像ミュージアム」小学2年生 男子)



初めてのお泊まりだったのですが、事前からとても楽しみにしていました。実際楽しかったようで、今後の活動についてもとても楽しみにしています。人見知りで、新しいことには自分からは積極的に取り組まないところがあるので、国際自然大学校の活動の中で同世代のお友達と一緒に何かをする中で、自分一人では取り組まないようなことに取り組んでいって欲しいと思っています。今後ともよろしく願いします。

(第6回「スペシャルお泊り2days」小学1年生 女子)

★キャンプカウンセラーより



「宝物！」 空クラブ キャンプネーム：かりーな

活動毎に子どもたち同士のコミュニケーションが増えたり、助け合ったりする様子が見られ、そういう姿を見るととても嬉しくなりました。やったことがないことにチャレンジしたことや、「できた！」と言って見せてくれる顔はいつまでたっても忘れられません。「また会おうね、ありがとう」と最後に言われた時、一年間やってきて良かったな！と思いました。

子どもたちの成長はもちろんですが、自分も成長できました！この一年間は私の大切な宝物です。ビギナーコースの子どもたち、カウンセラー、本部、そしてびけ！と活動できて本当に楽しかったです！ありがとうございました！



「たからもの」 空クラブ キャンプネーム：ゆっきん

ビギナーコースの集大成、10kmハイクが終わりました。5月、楽しみと不安とが入り混じった子どもたちの表情も、10kmハイクではたくましくなったように感じました。

ビギナーコースでの「できた」は子どもたちにとって自信となり、思い出がたっぷり詰まっています。そして、私にとっても沢山の経験と自身の成長ができる場所でした。そう思えるのは、喜怒哀楽を共にしたステキな子どもたちと一緒に頑張ってくれる大切な仲間に出会えたからです。

最後に、全力で遊んで、全力で考える子ども達から沢山学ぶことができました。ビギナーコースで過ごした三年間は私にとって宝物です。



★ディレクターより



小島（びけ）

ビギナーコースの活動では、うまくいくこともいかないこともたくさん味わってほしい。そして、その出来事を自分で“考えて”なんとかしようと“やってみる”。そんな経験をしてほしいと願って1年間活動してきました。難しそうなことや初めてのこと、苦手なことにチャレンジする時、人は緊張します。でもそんな時に、それをワクワクする気持ちに変えることができれば、あるいは仲間と一緒に協力して乗り越えることができれば、それはかけがえのない経験になるはず。だからこそ、小学校1～2年生という柔軟な年代のうちに自分たちで試行錯誤して、たくさんの『できた！』体験をしてほしいと思っています。

子どもたちと一緒に過ごすということは、いつも予想外に満ちていて、私たちに発見や喜びを与えてくれます。私自身にとっても、子どもたちに真剣に向き合い試行錯誤の1年間でした。また、みんなと一緒にキャンプで色々なチャレンジをすることを楽しみにしています。

1年間ありがとうございました！

